

おおさか気候変動対策賞公募部門（令和3年度以降） 過去の受賞者一覧

年度	賞の種別	分野	事業者名/事業所名	活動名称・主な取組内容
令和3年度	大阪府知賞	緩和	J.フロントリテイリング株式会社/ 大丸心齋橋店・心齋橋PARCO	【再生可能エネルギー100%のESGモデル店舗】 大丸心齋橋店、心齋橋PARCO店をモデルに、館内で使用する電力を100%再生可能エネルギー由来に切り替え、3年間で9割以上のCO <sub>2</sub> を削減した。グループとしてTCFD、SBT、RE100への賛同、参加を進め、全国の店舗・オフィスにおいても計画的に脱炭素に向けて取組みを進めている。
		適応	大阪シティバス株式会社	【バス停留所における猛暑対策の取組】 猛暑対策として、バス停留所において、温度抑制ベンチの設置や緑化対策を実施したことにより、多数の利用者に対する暑熱影響の軽減に努めた。道路上のミスト設置に対する許可を受けるなどの課題解決に取り組み、設置を実現した。
	優秀賞	緩和	株式会社光明製作所/リユーズ工場	【地球温暖化防止への取組】 省エネ診断結果に基づき、着実にCO <sub>2</sub> を削減するとともに、使い終わった水道用高密度ポリエチレン管を洗浄、殺菌して再利用するリユーズシステムの開発・運用により、ライフサイクル全体でCO <sub>2</sub> 削減に取り組む。
			南海電気鉄道株式会社	【カーボンニュートラルを目指したグループ全体の取組】 グループ全体として、2030年度2013年度比46%削減、2050年CO <sub>2</sub> 排出実質ゼロを目標に掲げ、7年間で10万トン以上のCO <sub>2</sub> を削減した。TCFDへの賛同、遊休地や駅のホーム上を利用した太陽光パネル設置、自社所有林を活用したJクレジットの創出など脱炭素に向けた様々な取組みを進めている。
		適応	大塚製薬株式会社	【ポカリスエットアイススラリーの開発・販売と熱中症対策の普及啓発】 ポカリスエットアイススラリーという自社製品を活用し、多数の自治体と公民連携による熱中症予防の普及啓発に取り組み、教育現場や作業現場における暑熱による影響の軽減につなげている。
	特別賞	緩和	グリコマニュファクチャリング ジャパン株式会社/大阪工場	【CO <sub>2</sub> 削減～CO <sub>2</sub> ゼロへの挑戦～】 再エネ電力契約、超音波による圧縮エアの漏れ測定、温水の制御方法の改善、エネルギー監視システムを導入するなど、エネルギーの見える化とエネルギーのロス削減に取り組んでいる。工場間で脱炭素にかかる先進事例を共有することで、グループ全体への水平展開を図っている。
			株式会社中日本冷蔵・太平製氷冷蔵株式会社	【温室効果ガス削減への取組】 環境省CO <sub>2</sub> ポテンシャル診断の受診結果をもとに各種省エネ対策やフロン対策に取り組むとともに、設備仕様や配管系統図を整理し機器の運転管理や電力使用量の管理を徹底するなど、省エネ・温暖化防止に取り組む。
			株式会社ラウンドワン	【多店舗における快適性を維持した持続的な省エネ事例】 IoT活用により、遠隔から全国73店舗の電力デマンド目標値の達成度や各室温データをリアルタイムにモニタリングし、細かく制御のできる管理体制を構築し、大阪府内9店舗では、電力デマンド28%削減を達成した。
			ケイミュー株式会社	【WBGT計測器導入による熱中症未然防止】 工場内の過酷な暑熱環境における熱中症患者ゼロを目指し、全国の工場から横断的に編成する暑熱対策委員会を立ち上げ、従業員の暑熱ストレスの軽減に向けWBGT測定器の導入をはじめとした暑さ対策を行う。
	大阪府知賞	緩和	大阪大学	【カーボンニュートラルの実現に向けたZEB化の取組み】 通常の建設コストと同程度となる普及可能なZEBをコンセプトに推進し、新築2棟のZEB Ready認証とZEB Oriented認証を取得した。 運用段階においても確実にZEB基準を満たすよう組織内での体制を整備するなど、PDCAを機能させるための具体的な達成手法を確立した。
適応		関西エアポート株式会社	【気候変動と関西国際空港の防災対策事業】 IPCCのシナリオに基づき、空港島周辺の護岸を通常の高上げ量に気候変動による海面上昇の予測分を追加した高上げを行った。 消波ブロックの設置、電気設備の地上化や大型止水版の設置も併せ、高潮・高波などの水害による影響の軽減を図り、関西経済への影響を最小限にするよう努めている。	
令和4年度			戸田・ハンシン・大容特定建設工事 共同企業体 寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事	【脱炭素社会の実現への取組み】 事務所への太陽光パネルを設置による自家消費と、工事現場で必要となる電力をRE100電力に切り替えを行った。 建設工事現場における環境対策を率先して取り組んでいる。

年度	賞の種別	分野	事業者名/事業所名	活動名称・主な取組内容
	優秀賞	緩和	野村不動産マスターファンド投資法人	<p>【2重サッシ導入による窓性能の向上で、既存ビルのさらなる省エネ化新たな付加価値を創造した取組み】</p> <p>既存ビルへの2重サッシ導入により、空調のエネルギー消費を低減した。省エネ高性能ガラスの入れ替えにおいて課題となっていた大規模かつ長期的な工事や、コスト負担、テナントへの配慮について、短期間化とコスト低減を可能とした。</p>
		適応	ユニバーサル・シティウォーク大阪	<p>【施設従業員の雇用環境向上のため廃棄傘の有効利用及び熱中症対策におけるドリンク無料配布施策】</p> <p>従業員に対して、拾得傘を再利用するよう推奨し、ドリンクの無料配布の際にポップ等による啓発を実施し、意識向上による行動変容を促した。各店舗や各事業会社へ取組を共有し、波及を図った。</p>